

# 本時の授業の見方

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために、「考え、議論する道徳」の授業づくりを進めることで、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることが大切です。

道徳科の授業は、教師と児童生徒が一緒になってつくるものであり、「考え、議論する道徳」の捉え方も一つではないと私たちは考えています。その上で、私たちの研究においては、以下の4つの視点で、「考え、議論する道徳」の授業づくりについて、研究してきました。

1. 児童生徒に問題意識を持たせる授業
  2. 登場人物の心情や考えを自分との関わりで考えさせる授業
  3. 多面的・多角的に考えさせる授業
  4. これまでの自分を振り返らせ、これから生きていく上で大切にしたい自分なりの考え（納得解）を見つけさせる授業
- ※ 学習指導案（細案）には、上の1, 2, 3, 4に、特に対応する学習活動や発問にそれぞれ問、自、多、生の記号を付けています。

## 1. 問題意識を持たせる

実際の生活場面を想起させ、「考えが違ったときに、自分の考えと友達  
の考え、大切にしたいのはどちらですか」と問い掛ける。そして、  
「自分の考え、相手の考えどちらも大事ですよ。これから、生活して  
いく場面で、このように自分と考えが違う人たちに会ったときに、自  
分の考えを大切にしつつ、相手の立場や意見を尊重するってどういうこ  
となのかなということ、一緒に考えていきましょう」と投げ掛ける。  
児童が「相手の考えを尊重するとはどのようなことだろう」という相づ  
ちや表情をしているか注目してください。

## 2. 自分との関わりで考えさせる

ピエロの心情に共感させ、自分との関わりで考えさせます。ピエロが  
サムに腹を立てていることに「ピエロの気持ちは理解できますか」と共  
感させます。そして、怒りの気持ちがどうして消えたのか、自分との関  
わりで考えさせるために、「自分だったら、サムが頑張っている姿を見  
れば、怒りが消えますか」等の問い返しをし、ピエロの謙虚な心が表出  
できるようにします。

## 3. 多面的・多角的に考えさせる

ピエロだけでなく、サムの心情変化を考えさせることを通して、謙虚  
な心で、相手の立場や意見を尊重することの大切さについて、多面的・  
多角的に考えさせます。

## 4. 自己の生き方について考えさせる

導入時に考えたことを振り返り、ねらいとする道徳的価値についての  
自分の考えを書く活動を設定します。さらに、一人一人がどのような納  
得解を見つけたのかを全体で共有し、道徳的価値について、多様な感じ  
方・考え方があることを理解させます。

導入

展開

終末